

2001年2月23日

県民の政治意識 第12回モニター調査 報告書

(2001年2月19日～20日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	4



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

調査の目的

今回調査は、米原潜による「えひめ丸」沈没事故の対応遅れと、発覚したゴルフ会員権問題で、森首相の進退が政府・与党内でも公然と論議にのぼる状況とかち合った。

森首相は小淵氏の急病 - 退陣を受けての後継選出（昨年4月）の不透明さや、相次ぐ失言で宰相の資質が問われ、中川官房長官など閣僚の辞任も重なり、政権基盤が不安定のまま推移した。

昨年11月、野党不信任案と“加藤紘一氏の乱”を切り抜け、中央省庁再編新体制で21世紀に踏み出したのもつかの間、中小企業経営者福祉事業団（KSD）事件、政府機密費問題に揺さぶられ、今回の沈没事故をめぐる危機管理のつたなさに加えて、スキャンダルの発覚で、一挙に退陣への流れが固まる観を呈した。

景気回復の足取りがもたつく一方で、経済の構造変化が否応なしに進む状況下で、県民にとっては、新登場4カ月の田中県政と国政の“落差”にも関心がおもむく。今回から本格的に「県政評価」を継続的な項目として加え、通算6年目にさしかかった協会モニターを対象に、政治に対する期待や要望を探り、意識の変化を探る。

調査の設計

調査方法 当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、電話で回答を聞く方式。

【モニター～継続的な調査対象者】

1995年6月の参院選直前、県下の満20歳以上の1000人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち678人を対象に、選挙直後の同年7月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第1回モニター調査」と位置付け、それ以降は男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるようにサンプル対象者を選定して、96年2月に第2回調査を行い、さらに半年間隔で年2回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干補充し、現在の登録数は500人。

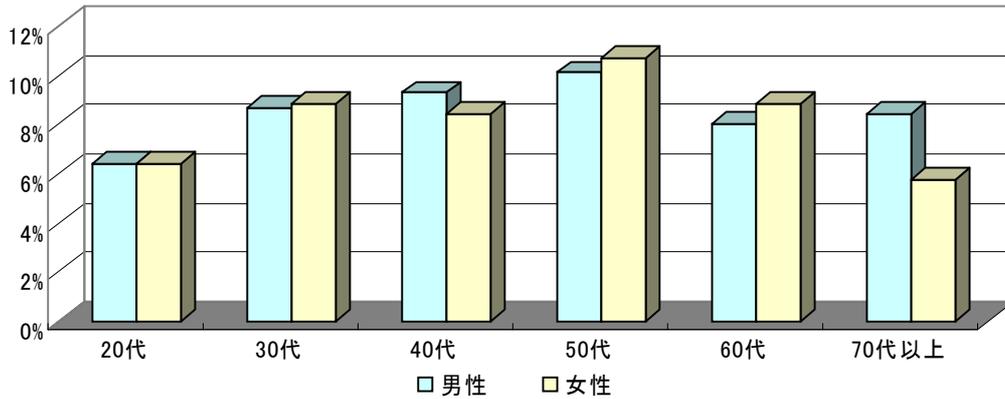
調査時期 2001年2月19日～20日

有効回収数 485人（97.0%）

サンプルの内訳

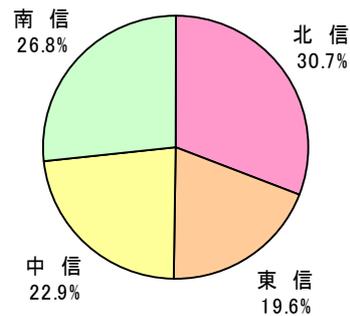
【性別と年代】

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
男性	247 50.9%	31 6.4%	42 8.7%	45 9.3%	49 10.1%	39 8.0%	41 8.5%
女性	238 49.1%	31 6.4%	43 8.9%	41 8.5%	52 10.7%	43 8.9%	28 5.8%



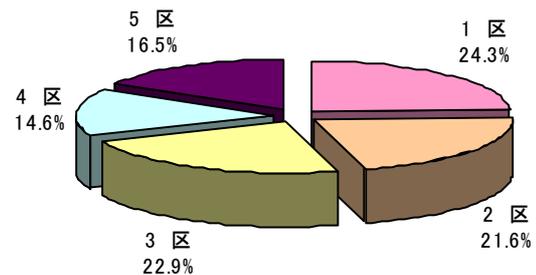
【地域別】

北信	149	30.7%
東信	95	19.6%
中信	111	22.9%
南信	130	26.8%



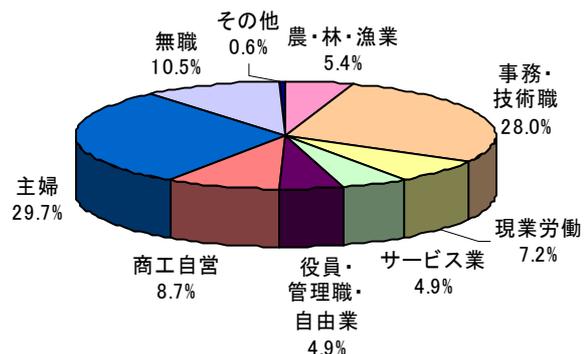
【選挙区別】

1区	118	24.3%
2区	105	21.6%
3区	111	22.9%
4区	71	14.6%
5区	80	16.5%



【職業別】

農・林・漁業	26	5.4%
事務・技術職	136	28.0%
現業労働	35	7.2%
サービス業	24	4.9%
役員・管理職・自由業	24	4.9%
商工自営	42	8.7%
主婦	144	29.7%
無職	51	10.5%
その他	3	0.6%



II 結果の概要

今回の第12回モニター調査は、ハワイ沖で米原子力潜水艦の衝突による実習船えひめ丸沈没事件で、ゴルフ場にいた森首相の危機管理のあり方、会員権の不明朗さが指摘され、退陣論議が公然化した政局の慌しさの中で行われた。また、県下では田中知事の下で初めての新年度予算案が編成され、定例県議会招集を控えて、懸案の公共事業見直しをめぐり、知事が「脱ダム宣言」し、波紋を投げかけた時期に重なった。

①森内閣の評価

森内閣の支持率は7.6%に落ち込み、不支持は92.0%。過去最低だった前回調査（昨年8月末）の11.5%を更新した。今回調査では、支持・不支持を明確にしない立場の「なんともいえない」を選択肢としてモニターに明示しない質問方式にしたため、内閣評価が端的に現れた（ちなみに、前回調査で「なんともいえない」は28.3%）。

支持理由のトップは「他に適当な人がいないから」で、不支持では「首相の政治姿勢が好ましくないから」。今の政治に対する評価でも「不満足」が総体で9割を突破し、その理由では「国民不在の政党・政治家」が多く挙げられ、首相個人の評価を越えて、政治そのものに対する“異議申し立て”の様相が濃い。「日本の将来の不安」の質問でも「政治」が一挙に首位（前回6位）に浮上した。

②政党支持

民主党が25.2%でトップを維持し、2位自民党は13.0%と2割台を大きく割り込んだ。両党の差は、前回よりも拡大した半面、民主党も支持率を下げている、その分無党派層（39.2%）に上積みされた。公明党は3位を守り共産党、社民党、自由党と続く。

支持政党の評価する点では「政策の現実性」「主義主張の一貫性」に加えて「清潔なイメージ」が上位に食い込んだ。政界再編成について「期待する」が過半数を超えた。

③田中県政の評価

支持が86.8%の高水準で不支持は12.8%。昨年10月の知事選翌日に、当協会が実施した一般県民対象の「新知事と県政に望む」調査（全県800人・電話）の知事選結果に対する満足度80.8%の好感度を、田中知事はそのまま維持している格好だ。支持の理由では「県政を変えようとしている」と「県民と対話し現場に出かけている」が上位。不支持では「考え方が場当たりのでわかりにくい」が最も多い。

知事が掲げる施策の見直しのうち「公共事業」では、ほぼ9割が推進を支持。「高校12学区制」でも、7割が見直しを進めることに賛成している。県政の最優先分野では「福祉・医療」を筆頭に「財政」「教育」「環境」「農林業」がランクされた。

④景気の判断

「不況のまま足踏み」が7割近くに迫り「不況がさらに深刻化している」を合わせると9割に迫る厳しいとらえ方。最優先で望む景気対策では「消費税引き下げ」「雇用を増やす」が多い。国政の最重要課題でも「景気回復・雇用確保」が突出して多かった。

Ⅲ 単純集計

◆今の政治に「不満」総体で9割を突破

問1 今の政治に満足していますか。		
大いに満足	4	0.8%
どちらかといえば満足	41	8.5%
どちらかといえば不満足	232	47.8%
全く不満足	207	42.7%
なんともいえない	1	0.2%

◆不満足の原因 上位に「国民不在」「首相の資質」

問2 今の政治に不満足という最も大きな理由は何ですか。		
国民不在の政治・政治家	149	33.9%
首相の言動・資質・政治姿勢	88	20.0%
景気回復・財政対策	74	16.9%
危機管理・スキャンダル処理	20	4.6%
その他	26	5.9%
特になし	77	17.5%
不明	5	1.1%

◆政治の最重要課題 半数が「景気・雇用」

問3 国の政治の課題として、何が最も重要だと思いますか。		
景気回復・雇用確保	243	50.1%
行財政の改革	119	24.5%
安定的な年金・介護	76	15.7%
教育の見直し	34	7.0%
安全保障問題	9	1.9%
その他	4	0.8%

◆森内閣支持 ついに7.6%に下降

問4 森内閣を支持しますか。		
支持する	37	7.6%
支持しない	446	92.0%
なんともいえない	2	0.4%

◆内閣支持の理由「他に適当な人がいない」急増

問5 支持する理由は何ですか(2つ以内)		
他に適当な人がいないから	23	62.2%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	16	43.2%
自民党中心の内閣だから	14	37.8%
政策に期待できるから	8	21.6%
首相の政治姿勢が好ましいから	2	5.4%
森さんが首相だから	1	2.7%
その他	2	5.4%

◆不支持の理由「首相の政治姿勢」7割強にも

問6 支持しない理由は何ですか(2つ以内)		
首相の政治姿勢が好ましくないから	327	73.3%
政策に期待できないから	246	55.2%
森さんが首相だから	137	30.7%
自民党中心の内閣だから	75	16.8%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	65	14.6%
他に適当な人がいるから	12	2.7%
その他	11	2.5%

◆「望ましい政権はない」増え首位保つ

問7 本来どのような政権が望ましいと考えていますか。		
自民党を除く民主党中心の連立	135	27.8%
自民党・民主党の連立	56	11.5%
今の自民党・公明党・保守党の連立	46	9.5%
自民党単独	27	5.6%
その他	42	8.7%
望ましい政権はない	166	34.2%
なんともいえない・わからない	13	2.7%

◆自民急減 トップ維持の民主も増えず 無党派層に流出

問8 どの政党を支持しますか。		
民主党	122	25.2%
自民党	63	13.0%
公明党	27	5.6%
共産党	26	5.4%
社民党	24	4.9%
自由党	20	4.1%
保守党	1	0.2%
その他の政党	4	0.8%
支持する政党はない	190	39.2%
答えたくない	8	1.6%

◆支持政党の評価「現実性」「一貫性」に「清潔」浮上

問9 支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか(2つ以内)		
政策の現実性	96	33.4%
主義主張の一貫性	78	27.2%
清潔なイメージ	72	25.1%
長期的な視点	70	24.4%
安定感・頼りがい	47	16.4%
党首の魅力	39	13.6%
革新的な姿勢	35	12.2%
開かれた党運営	35	12.2%
中道的な姿勢	31	10.8%
日本国憲法への姿勢	28	9.8%
保守的な姿勢	12	4.2%
その他	5	1.7%
なんとなく	3	1.0%

◆無党派層の評価「政治不信の現れ」他を引き離す

問10 「支持政党なし(無党派層)」について、どのようにお考えですか(2つ以内)		
政治・政党への不満、不信の表れ	292	60.2%
個人中心の選挙が背景にある	146	30.1%
政治に対して無関心、無責任	143	29.5%
政党がもっとがんばれば減っていく	130	26.8%
自由に1票を行使している	62	12.8%
政治を不安定にさせている	60	12.4%
棄権が多く投票率を下げの一因	46	9.5%
政治に関心の高い人が多い	24	4.9%
選挙を面白くさせる波乱要素	10	2.1%
その他	6	1.2%
なんともいえない・わからない	11	2.3%
不明	1	0.2%

◆政治・政党の再編成「期待」増えて5割半ば

問11 「政治・政党の再編成」に期待しますか。		
期待する	269	55.5%
期待しない	211	43.5%
なんともいえない・わからない	5	1.0%

◆今の景気「足踏み」「深刻」合わせて9割に迫る

問12 今の景気はどんな段階だと思いますか。		
不況のまま足踏みしている	324	66.8%
不況がさらに深刻化している	99	20.4%
不況の底から回復の兆しがある	55	11.3%
不況から回復し拡大している	4	0.8%
好況が続いている	3	0.6%

◆景気対策の優先「消費税率下げ」「雇用」並ぶ

問13 景気対策として、どのような対策を優先してほしいですか(2つ以内)		
消費税率を下げる	212	43.7%
雇用を増やす	205	42.3%
預貯金の利子上げる	141	29.1%
法人税の軽減や融資面で企業を支援する	116	23.9%
大幅な減税をする	100	20.6%
住宅建設を金利や税金面でこ入れする	63	13.0%
公共事業を増やす	58	12.0%
輸出入を増やす	24	4.9%
その他	27	5.6%
わからない	1	0.2%

◆田中県知事「支持」86.8% 「不支持」12.8%

問14 田中知事を支持しますか。		
支持する	421	86.8%
支持しない	62	12.8%
なんともいえない	2	0.4%

◆支持の理由「変革の姿勢」「現場主義」上位に

問15 支持する理由は何ですか(2つ以内)		
長野県政を変えようとしている	318	75.5%
県民と対話し現場に出かけている	268	63.7%
考え方が新鮮でわかりやすい	91	21.6%
政策が期待できる	62	14.7%
長野県が全国的に注目されるようになった	53	12.6%
知事の人柄が好ましい	31	7.4%
その他	6	1.4%
なんとなく	1	0.2%

◆不支持の理由「場当たりの・わかりにくい」トップ

問16 支持しない理由は何ですか(2つ以内)		
考え方が場当たりのでわかりにくい	31	50.0%
行政本来の手法が軽視されている	21	33.9%
県政の継続性が貫かれていない	19	30.6%
政策に期待できない	16	25.8%
知事の人柄が好ましくない	16	25.8%
知事本来の仕事に専念していない	13	21.0%
その他	3	4.8%

◆施策の見直し賛成「公共事業」9割 「高校通学区」7割

問17 あなたは、田中知事の施策の取り組みについて、どう評価していますか。		
A 公共事業の見直し		
積極的に進めるべきだ	277	57.1%
どちらかといえば進めるほうがよい	154	31.8%
どちらかといえば行わないほうがよい	37	7.6%
全く行うべきでない	9	1.9%
なんともいえない・わからない	8	1.6%
B 高校12学区制の見直し		
積極的に進めるべきだ	172	35.5%
どちらかといえば進めるほうがよい	165	34.0%
どちらかといえば行わないほうがよい	108	22.3%
全く行うべきでない	22	4.5%
なんともいえない・わからない	18	3.7%

◆県政の最優先分野「福祉・医療」に続く「財政」「教育」

問18 県政で最も優先してほしい分野は何ですか。		
福祉・医療	154	31.8%
財政	72	14.8%
教育	69	14.2%
環境	65	13.4%
農林業	30	6.2%
交通	25	5.2%
情報・通信	22	4.5%
商業・観光	21	4.3%
防災	10	2.1%
工業	9	1.9%
その他	4	0.8%
なんともいえない・わからない	4	0.8%

◆日本の将来の不安 急浮上「政治不信」トップ

問19 日本の将来を考える時、とくに心配したり、不安に思うことがありますか(5つ以内)		
政治の不安定・不信	274	56.5%
ふくれる財政赤字	220	45.4%
景気の行方	217	44.7%
犯罪の増加	190	39.2%
高齢化と少子化	181	37.3%
社会保障・福祉の水準低下	175	36.1%
青少年の教育・育成	171	35.3%
モラルの低下	171	35.3%
地球環境・自然破壊	158	32.6%
官僚依存型の社会の体質	156	32.2%
経済の国際競争力の低下	129	26.6%
雇用の不安	114	23.5%
進まない行政改革	99	20.4%
国の安全保障	65	13.4%
エネルギー不安	55	11.3%
女性の地位向上の遅れ	19	3.9%